



ほけんだより 2月号

社会福祉法人
伊東つくし会
ちゅうりっぷ保育園
2022年 2月

花粉症の時期になりました。花粉症の症状は風邪とまぎらわしいです。新型コロナウイルス感染症の症状とも似ているので、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目をこするなど、気になる症状がある時には、小児科や耳鼻科などで相談しましょう。

冬の事故

豆まき時の誤嚥

家での豆まきは、大豆で行うことが多いと思いますが、0~4歳の気道異物の上位は、ほぼピーナッツ・豆類が占めています。子どもが急に咳き込んだり、ゼーゼーした場合は要注意です。豆の取り扱いには注意してください。食べている時には、近くにいきましょう。



やけど

ストーブ、ファンヒーター、炊飯器、ポットなどが子どもの手の届く場所にありますか。興味で触ってしまうので注意しましょう。やけどをした時は、できるだけ早く冷やすことが大切です。流水で冷やすのが一番適しています。水ぼうがができたり、破れて痛みのある時には、食品用ラップで傷を覆いその上から冷やし、受診しましょう。



新型コロナウイルス感染症（オミクロン）

について

市内でも感染者が急増しています。オミクロン株は他の株よりも感染しやすいと言われています。症状は発熱、咳、だるさ、のどの痛みなど風邪症状が中心ですが、無症状の人もあります。潜伏期間は3日とデルタ株より2日早いです。若年者や小児の感染が多く見られます。

風邪症状がある時は、早めの受診をお願いします。基本的な感染予防対策を心がけましょう！



1月の感染症
ありませんでした

胃腸症状は落ち着き、鼻水の出る子が目立ちました。早めに受診して頂き、季節性、アレルギー性のものと診断されていきました。